



死ぬまで

思い出してよ

R18

ADULT

ONLY

syouri♡

tarutariya

※Attention

- ※オメガバース設定の鍾タル漫画です。
- ※モラクスにバース設定は設定していません。
- ※人間鍾離先生にはアルファ設定があります。
- ※タルタリヤはオメガです。
- ※色々捏造しています。
- ※なんでもお許せる方向け



「ほらな」と思ったのは
アルファの男が
目の前で倒れたのを
見た時だった




その日たまたま
運の悪いことに
抑制剤が切れてしまった
ヒートも七日目だったので
ほとんど匂いは
出ていなかった

どうしても外せない
任務だったので
薬を買いなおしに
行くことも
出来なかった

人とのできる限り接触せずに
一日を終えた帰り道
一人の男に声をかけられた




「お前
オメガだろ」



熱を孕んだ目を見つめた時

寒気と憎悪が
一気に
せりあがってきた
気付いた時には
弓を引いていた



まあ死んではいけない
急所は外したし



はあ、



ほんと
くだらない




こんな性
大嫌いだ

戦士は少しでも
弱みを見せたら

それが
命取りに
なる

俺はこれを
隠して生きていく
つもりだったし
誰かと番うくらいなら
死んだ方がマシだと
思っていた



いや
厳密にいうと
今も思っている




懐に忍ばせた
毒入りの刃を
使うその日まで

死と隣合わせで
生きている

フッ
フッ





まさか
さっきのアルファに
あてられて……

どうする
もう身体が
いう事をきかなく
なってきた

他のアルファに
見つかるのは
時間の問題だ



……
……
……
……
……
……

知らないアルファに
襲われるくらいなら

いっそ……





やめておけ



物騒だな

その手で
自死を
選ぶか

見たところ
まだ
若いだろう



……こいつ
どこから

というより
人ですら……

多分
アルファ
じゃない

さて
青年よ









なんでこんな事

自分でも触ったことないのに今日初めて会った他人に触られるなんて

あ、

はっ

柔いな

……気分はどうだ



……
気持ち悪いに
決まってる



……
そうか



最悪だ
惨めだ

ふ……う

……
こんなことで

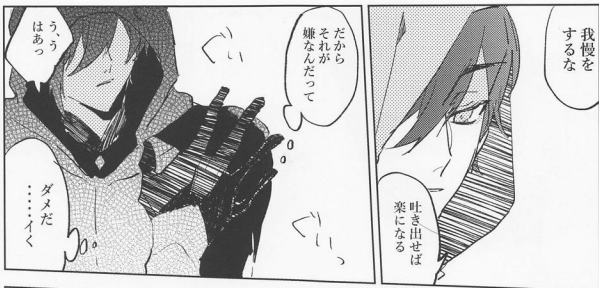
うあ

やあ

ちゅっ

ん

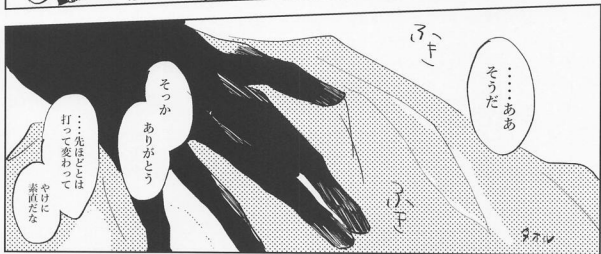
ん





……ねえ
さっき俺に
飲ませたのって

抑制剤？



……ああ
そうだ

そっか
ありがとう

……先ほどとは
打って変わって

やけに
素直だな



……
あのままだったら
アルファに
襲われてただろうし

薬を飲んで
いなかったら
惨めにあなたに
縛っていただろうし
……

……だから
ありがとう

……
大したことはない
気にするな

ひとつ
質問していい？

なんだ

俺を
助けたのは
どうして？

……
特に理由は
ない

ただの
偶然だ

なにそれ
普通は助けない

そんなこと
するの

神様くらい
じゃない？

……
神でさえ

無差別に
命は救わない







……
気安く
触らないで

冗談だよ

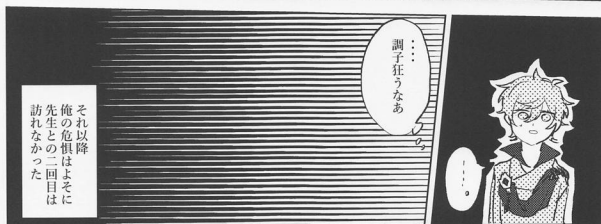
ススス、

ああ

分かっている

だが

本当のことだ



……
調子狂うなあ

それ以降
俺の危惧はよそに
先生との二回目は
訪れなかった



先生というのは
彼の愛称だ

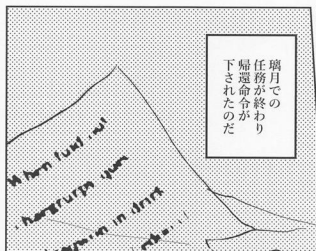
名前を
頑なに教えてくれないので
「神様」と呼んでいいかと
聞いたら却下されてしまったので

先生と
呼ぶことにした

瑞月にいる間
俺と先生は
旧友であるかのように
共に過ごした

ふらつと
現れたかと思うと
御飯に誘われたり
単に散歩をするだけ
だったり様々だ

今思うと
あれは俺の事を
見守っていてくれ
たのだろうと分かる

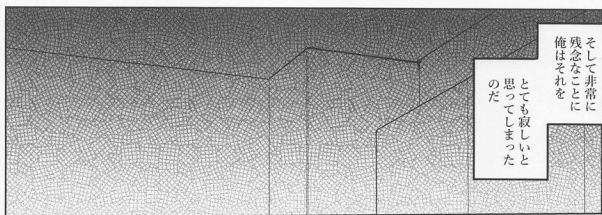


脳月での
任務が終わり
帰還命令が
下されたのだ



そんな不思議な
先生との生活も
すぐ終わる

簡単な話だ



そして非常に
残念なことに
俺はそれを

とても寂しいと
思ってしまった
のだ



俺と
シてみない？



先生

今日はさ

……何故

なんでも
ないよ

なんでもないわけ
ないだろう
無理をするな

無理している
わけじゃない
情が移っただけ

……情が

うん
血も涙もない
わけじゃないから
情くらい湧くよ

あるでしょ？
人間なんだから

……いや
分らない
俺は人ではない

ふーん
まあそりゃ
そうか

……
知って
いたのか



そりゃあね

人の気配と
神気は全く
違うよ

する

する
だら



どうして?
潔癖じゃないよね?

そんなことは
……………



……遠回しに
断ったつもりだ



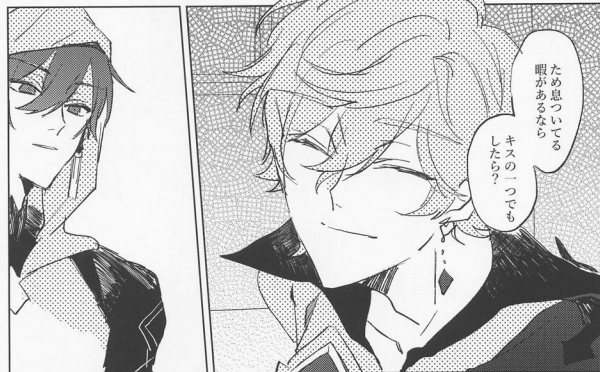
……それは、
触るからだろう
……………



っておい!

する

なんだ
少し勃ってる





その通り

ああ
まったく



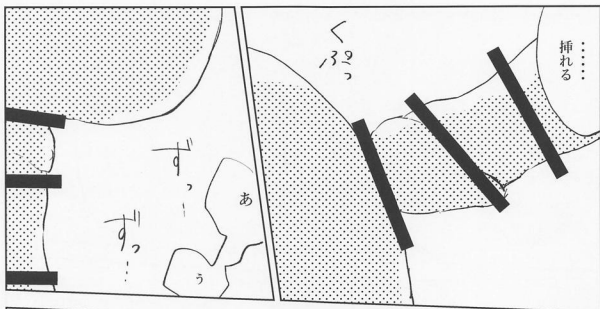
あつ
ん

ただ
嫌なら
すぐに
やめる

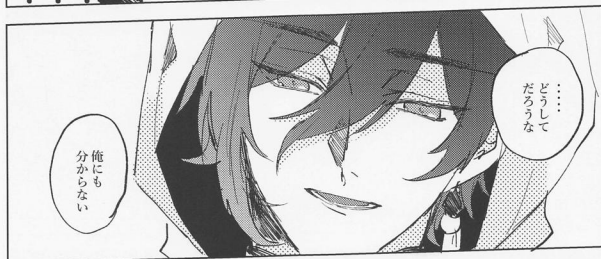


きつと
この神は最後まで
博愛の人
なんだろう

……うん

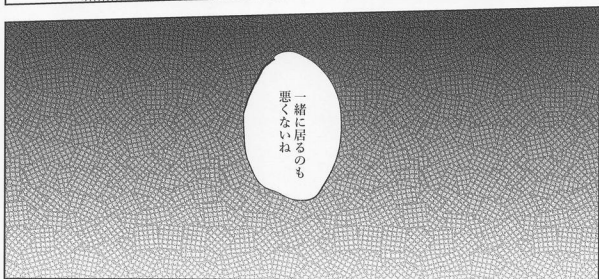








……だね



一緒に居るのも
悪くないね

最期の夜も
先生は

変わりなく
優しくて
いつも通り
美しい神だった



数年後……

え
璃月？



はい
璃月の神「モラクス」の
神の心を手に入れることが
今回の女皇様からの命です

……そう
久しぶりだね



……いや

なんでもない



……何か
思い入れても？



忘れられる
はずがない

俺は
あの夜を今でも
焦がれているの
だから



……とは
言ったものの



あの神がドロドロに
優しくするものだから
身体が勝手に思い出して
疼く


浅ましいオメガ性に
反吐が出そうだ



数千年も生きている神と
数十年しか生きていない俺では
時の流れ方が違う



もう先生だって
ほんの少し情を交わした
1人の男の事なんて
忘れてる



この熱ごと
想い出も消し去って
しまえれば
どれ程よかっただろう



あ、
すみません



こや
こや



は、



出来る限り
任務以外では
近づかないように
しないとイケない

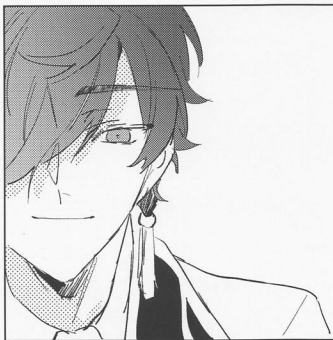
……いろいろ
お世話になるよ

その
鍾離……殿

そう

よろしく
鍾離先生

気軽に
鍾離に
でいい





あ
あ
よろしく


フリーマ



カこそパワー/無糖
20220123発行/STARBOOKS様
Twitter/@mutou.0927
pixiv/6203484

※無断転載・ネットオークションやフリマへの
出品はおやめください。
※翻訳禁止・海外サイトへの転載禁止です

ご感想頂ければ
大変喜びます



20220123

present by mutou